

令和2年度 第2層生活支援コーディネーター業務実施報告

包括名	活 動 内 容
東南部	<p>① <b>新光地区で地域のことがわかる勉強会を開催予定</b>（老人クラブ、町内会を想定。テーマ未定）          ⇒コロナ影響のため未実施</p> <p>② <b>居宅介護支援事業所を対象に、事業所全体の勉強会を開催。地域ケア会議(自立支援型)について包括がサポートする。居宅ごとに開催。モデル的に居宅朝里温泉・この葉と協力して実施</b>          ⇒コロナ影響のため未実施</p> <p>③ <b>東南部圏域独自のお役立ち手帳(別冊)の作成</b>          ・具体的な介護施設の利用条件や料金、活用できる減免制度の説明、東南部圏域の特性を盛り込んだ地域の情報パンフレットを作成する（包括での相談者や研修会での配布）          ⇒お役立ち手帳作成（警察署（特殊詐欺）や消防署（火災警報器）のリーフレットを添付。205部配布。配布先は朝里地区民協、桂岡町会役員等、東小樽町会高齢者交流お茶会、ふれあいサロン、お茶の間たけうちさんち、おさんぽカフェ、相談者等）          「体に、いいことしてみませんか？」と題した脳トレや体操の冊子を一層コーディネーター監修のもと作成（100部配布、お役立ち手帳配布先と重複）</p> <p>④ <b>各懇談会への参加</b>          （地域懇談会、茶話会、認知症カフェ、民生委員協議会等に参加し、情報交換や各種講座を実施）          ・情報交換とコーディネーター周知          ⇒令和2年9月26日朝里地区民協に参加20名          「民生委員と協力して対応した事例」とその他について話し合いを実施</p> <p>⑤ <b>地域での研修会の開催</b>          （東南部圏域の自治会・介護事業所・お役立ち手帳に記載されている団体等の活動内容の理解を深め、ネットワーク構築と地域の見守り活動の体制を整備する）          ⇒令和2年12月13日 桂岡会館 桂岡町会役員（区長及び部長）20名          高齢者の見守り体制と包括支援センターの機能について意見交換を実施。          桂岡地区意見交換会（場所：十万坪会館 時期未定）          テーマ：介護保険課企画の札幌市社協の見守り活動についての講演          ⇒コロナ影響のため未実施          朝里地区発足予定の「くさのネ」に参加と協力          ⇒令和2年12月6日 包括2階 くさのネ事務局と意見交換会に参加。6名          （くさのネ：地域住民自治会役員・地域の福祉事業所・民生児童委員・東南部地域包括支援センター等が参加、地域住民（参加者）自らが問題解決にあたることを想定し活動）</p> <p>⑥ <b>居宅介護支援事業所個別訪問</b>          東南部圏域内では、訪問介護・通所介護サービス等の介護サービス提供が困難になってきているため、介護支援専門員が抱えるニーズ把握を行う。（居宅介護支援事業所10ヶ所を訪問）          ⇒コロナ影響により、書面によりアンケートを実施（令和2年10月）</p> <p>⑦ <b>薬カレンダーを活用しての2層コーディネーターの普及啓発</b> 薬カレンダー400枚作製          啓発用語・包括名・電話番号を記載して、町内会向け研修会やサロンや体操教室等で配布          ⇒希望者12人に配布（要支援・要介護者の希望者に）</p> <p><b>【第2層協議会】</b>          ⇒未開催</p>

- ① サロン(入船六三町会おしゃべりサロン、松ヶ枝長寿会等)や介護予防教室(からまつ・すみのえ・おくさわ・わくわく奥沢口)へ訪問し、地域課題等の情報収集や意見交換を行う。サロンについては圏域外への訪問も予定。
- ➡ 9/11 そばかふえ視察
  - 10/9 奥沢民生委員例会にてそばかふえチラシ配布
  - 介護予防教室「からまつ」「すみのえ」については再開したため、今後の感染動向をみながら訪問を検討。
  - ➡訪問を自粛し、来年度へ持ち越しとする。
  - ➡11/18 ベテル地域食堂視察
- ② 認知症地域支援推進員との協働事業。認知症カフェ築港店を開催。(5/21、6/18、8/20、12/3、R3.3/11)
- ➡ コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期、カフェの形態を変え今年度3回開催を予定している。(11月、12月、R3.2月開催予定)
  - ➡11月、12月、R3.2月新聞にて参加募集行い、郵送にて開催(延301人参加)
- ③ 民生委員定例会に参加(例年5月～7月で開催しているが、秋に延期)
- ➡ 南樽地区 8/5 参加、奥沢地区 10/9 参加、入船東地区 11/6 参加、入船南地区参加
- ④ 済生会健康フェスタの多世代交流の場を開催(8月又は9月開催予定)
- ➡ コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は中止。
- ⑤ 認知症地域支援推進員との協働事業。特定団体向け認知症サポーター養成講座(商業施設)の開催。
- ➡ コロナウイルス感染拡大防止のため今年度の開催を次年度へ延期予定。
- ⑥ 生活支援コーディネーターに係る研修会への参加や他市の活動視察
- ➡ 8/25.26 令和2年度生活支援コーディネーター養成研修参加
  - 10/21 第44回北海道都市会議参加
  - 10/22 令和2年度 支えあいをひろげる住民主体の生活支援フォーラム参加
  - 11/11.12/8 令和2年度生活支援コーディネーター研究協議会参加予定
  - R3.1/28 令和2年度生活支援コーディネーター養成研修(応用編)参加予定
  - ➡R3.1/28 令和2年度生活支援コーディネーター会議養成研修(応用編)参加
  - ➡R3.2/3 介護予防・生活支援の地域づくりに向けた地域課題解決のプロセスとは～実践型地域づくり人材育成プログラム成果の報告会 参加
  - ➡R3.3/16 第3回小樽市相談支援包括化推進会議 参加
- ⑦ 圏域内の地域活動の後方支援
- ⑧ 住民ワークショップの開催を検討し、住民主体の地域づくりを推進していく
- ➡⑦⑧ともに今年度は実施予定なし。
- ⑨ 広報誌15号、フレイル予防のリーフレットを作成し圏域内利用者に配布。
- ➡広報誌15号 フレイル予防・栄養のリーフレット作成し圏域利用者へ配布(R2.5発行)
  - ➡広報誌16号 事業所移転の報告・栄養・地域食堂のリーフレット作成し、圏域利用者、町内会、各事業所へ配布(R3.3発行)
- ⑩ 脱水予防啓蒙のため、資料説明しOS1サンプルゼリーを配布(圏域内高齢者世帯、民生委員定例会、介護予防教室にて実施)
- 【第2層協議会】**
- 入船六三町会で開催予定。コロナウイルスの影響で開催日未定
- ➡コロナのため開催中止

- ① 例年「みんなカフェ」は年 2 回の調理実習を実施し、地域の方々と交流をしてきた。今年度より「みんなカフェ」の調理実習 1 回と、介護予防(フレイル対策)の目的で市内散策を 1 回行う。名称は「みんなの歩く会」として、小樽広報誌等で多くの方に参加を呼び掛けていく。
- ➡ 新型コロナによる市中感染があるため、中止。
- ② 「みんなカフェ」(11 月頃の開催予定)
- ➡ 新型コロナの予防が完全にできないため、中止。
- ③ 「みんなの歩く会」(6 月に開催予定)
- 「みんなのボランティア(みんなボラ)」の 2 名の方にサポーターとして初参加していただく予定。4 月にみんなボラ 2 名と生活支援コーディネーター(生活 SC)が顔合わせする場を設け、今後の活動の打合せを行っていく。
- ➡ 実施に向けて、R2 年 2 月にガイドクラブに訪問依頼し了解されていたが、4 月にガイドクラブ担当者より新型コロナの感染防止ができないと連絡があり、中止となった。生活 SC と管理者の 4 名で予定していた散策コースを下見している。マスク・フェイスシールドの着用、ソーシャルディスタンスを行うと説明時などの声が参加者に聞こえにくいことが判明。この状態であれば参加者の安全確保も難しい。開催については新型コロナの感染防止ができるか終息しないと難しいと思われる。
- みんなボラの顔合わせは日程が決定していたが、新型コロナ感染と今年度の活動ができるか分からない状況だったため、中止としている。
- ④ 包括内のイベントや多様な広報誌を活用し、「みんなカフェ」及び「みんなの歩く会」の周知・参加を呼び掛ける。みんなのボランティア募集も継続する。
- ➡ 新型コロナによる活動自粛によりイベントが中止になったため広報活動は中止。
- みんなボラの募集は「ほたる縁日」にチラシにて配布している。
- ⑤ 市内他カフェの見学 ➡ 市内にあるアレルギー対応のカフェに見学。
- ⑥ 他市の生活支援コーディネーターの活動の視察 ➡ 受け入れ先がないため中止。
- ⑦ 生活支援コーディネーターに係わる研修、見学の参加
- ➡ 札幌社会福祉協議会ボランティアセンターの研修会に 3 回参加。
- ⑧ 介護支援専門員の研修会開催時に地域支援に関するアンケートを行っていく。
- ➡ 介護支援専門員研修が中止となり、アンケートは行っていない。
- ⑨ 市内生活 SC と活動の情報交換を行っていき、今後の活動の参考にしていく。
- ➡ 他包括生活 SC、第 1 層 SC と電話・メールやシンポジウム参加時に情報交換する。
- 東南部、南部より資料やチラシをいただき活用。中部は打ち合わせ時の場所提供や地域の情報を発信している。

## 【第 2 層協議会】

### ① 9 月予定「地域つながる会議」

緑地区で開催

地域住民や若い世代、介護事業所等に参加を呼びかけ、今、自分たちは地域で何ができるのかということを検討したい。

- ➡ 本年度の第 2 層協議会は地区民生委員、地域住民代表、介護事業所に声掛けを行い、みどり茶房の 2 階で 9 月 8 日(火)に開催予定だった。市立小樽病院で新型コロナのクラスターが発生、Zoom などのオンラインの開催を考えたが、機材やネットワークなどの不足により直前に中止となる。
- 参加呼びかけ時にアンケートを依頼、回答をいただいていたので、それを取りまとめて第 2 層協議会の報告書を作成、市へ提出している。参加予定者へ発送している。

北西部

① H24 年度から開始した地域版介護予防教室を拠点にした地域づくりの取組み

② 地域版介護予防教室の定期巡回

➡ 例年「地域版介護予防教室」の定期巡回を通してサポーターや参加者から地域課題などについての情報収集や地域に向けての情報発信を実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止している。

地域の課題分析として、10月に配食サービス事業者の実態調査を実施。

(市の配食業者 3社を訪問した)

③ 認知症カフェ(オレンジカフェわいわい店)の開催

➡ 新型コロナウイルス感染予防のため、今年度は中止。

\*会場が「やすらぎ荘」で、家族にはリモートでの面会をお願いしている状況。

④ 地域向け広報紙「にこりてい」の発行 (年3回発行し各町会の回覧にて情報発信をする)

【第2層協議会】

介護予防サポーター交流会 ➡ 今年度は中止。

オタモイ団地意見交換会 ➡ 8月、3月ともに中止。